

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 2	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>The relationship between alcohol consumption and glycemic control among patients with diabetes: the Kaiser Permanente Northern California Diabetes Registry. 糖尿病患者における飲酒と血糖コントロールとの関連 : the Kaiser Permanente Northern California Diabetes Registry における検討</p>	
執筆者	
Ahmed AT, Karter AJ, Warton EM, Doan JU, Weisner CM	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Gen Intern Med.2008;23: 275-282.	
キーワード	
alcohol consumption, glycemic control, diabetes 飲酒、血糖コントロール、糖尿病	
要 旨	
<p>目的 : 飲酒は特別なことではなく、ごく日常的な行為である。しかし糖尿病患者における飲酒と血糖コントロールの関連についてはよくわかっておらず、今回検討することとした。</p> <p>方法 : 1994-1997 年に Kaiser Permanente Northern California のメンバーである 38,546 人の糖尿病患者を対象とし、ベースラインで聞き取り調査を行い経過観察した。自己申告の飲酒に関する質問に対する回答と、質問をしてから 1 年以内の HbA1c を調査に使用した。飲酒量に対する HbA1c の線形回帰分析を社会地理的要因、臨床的要因、糖尿病の重症度で調整して行った。最小平方平均を算出した。</p> <p>結果 : 多重調整モデルにおいて、HbA1c は飲酒歴なしの人で 8.88、禁酒者で 8.79、一日 0.1 飲酒単位未満で 8.90、一日 0.1-0.9 飲酒単位で 8.71、一日 1-1.9 飲酒単位で 8.51、2-2.9 飲酒単位で 8.39、3 飲酒単位以上で 8.47 であった。糖尿病患者では飲酒量は HbA1c と線形かつ ($p < 0.001$) 負の関連 ($p = 0.001$) があった。</p> <p>結論 : 糖尿病患者において飲酒量は血糖コントロールと負の関連があった。このことは臨床ガイドラインにおける糖尿病患者の飲酒は中等量で、いう論旨を支持するものである。血糖コントロールが糖尿病合併症の発症に影響を与えるため、中等量飲酒者では HbA1c 値が低いということは、中等量飲酒している糖尿病患者の合併症発症のリスクは低い、と言い換えることができるかもしれない。</p>	